

社内の人間関係を「見える化」 モザイクワークが開発

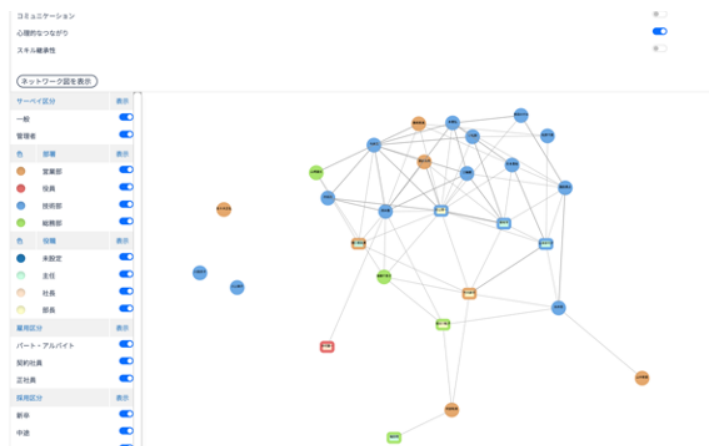
2023/09/21 15:05 日本経済新聞電子版 562文字

新潟市に本社機能を構える人事コンサルのモザイクワーク（東京・港）は、社内の人間関係などをネットワーク図で可視化するシステムを開発した。心理学の要素も盛り込んだ約70の設問に回答することで、業務面や精神面での個人間のつながりをネットワーク図にして表現する。図から組織の課題を見つけ改善するなど、人事施策に生かしてもらう。

同社は新潟オフィスを主要拠点とし、主に地方企業向けの人事コンサルを手がけている。サービス名は「モノサシ」で、設問は心理、業務、日常コミュニケーションの3つの観点から用意。「あなたの仕事を一時的に任せられる人は」「問題が発生したときに守ってくれそうな人は」などの問いに対し、直感的に思い当たる社内の人物を答えていく。

孤立している社員やスキル継承に課題のある社員など、ネットワーク図の重なりやゆがみなどから組織の課題をあぶり出す。モザイクワークでは、診断結果を基に今後の人材戦略などを考えるコンサルサービスも一緒に提供する。

杉浦二郎社長は「地方の中小企業では、組織の人間関係が離職率や生産性に直結する。組織の課題を見える化し企業の成長につなげていきたい」と話す。料金は回答者数によって異なるが従業員1人あたり2500円程度。このほか初期費用が5万円かかる。11月から先行販売し、2024年10月に一般販売する。



「モノサシ」では組織の人間関係などをネットワーク図で可視化する

許諾番号30095411 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.